

6月は土砂災害防止月間 ～みんなで防ごう土砂災害～

近年、台風やゲリラ豪雨により全国で土砂災害が発生しています。土砂災害から身を守るためには、「日頃からの備え・早めの避難」が最も大切です。平常時から意識を高め、家庭・地域で土砂災害への備えについて考えておきましょう！

●土砂災害から命を守るためにしておくべきこと・するべきこと



①日頃から住んでいる地域の危険度を把握する
(市で作成したハザードマップで危険箇所を確認する！)



②夜間に大雨が予想されるときは暗くなる前に自主避難する
(高齢者の方などは移動時間を考え早めの行動を取る！)



③豪雨になる前に早めの避難をする
(避難情報が出てから逃げれば大丈夫？)



NHK データ放送で避難情報などが確認できます。

④豪雨時の情報に注意する
(雲の動き、土砂災害警戒情報・避難情報に注意する！)

【豪雨でどうしても避難所などへ避難することができないときは…？】



近くの頑丈な建物や自宅の2階以上などに緊急避難しましょう！

避難できない場合は命を守る最低限の行動(崖から少しでも離れた、より安全な家の中での移動など)をとりましょう！

●逃げるタイミングはいつ？《重要なのは、早めの自主避難の判断！》

「長時間降り続く雨だな」と感じたら、まず、情報収集を行ってください。自主避難の判断材料となる情報は、防災無線・テレビ(NHKのデータ放送)・メールなどを通じて提供されます。

自主避難の判断に活用できる市や県からの情報例

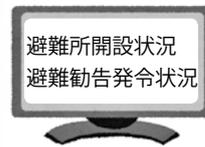
- ◎避難勧告、避難指示(緊急)などの発令について(防災無線やNHKデータ放送など)
- ◎「土砂災害警戒情報」の発令について(防災無線や県災害情報メール)
- ◎避難所開設・閉鎖情報について(防災無線、NHKデータ放送、ツイッターなど)
- ◎「県土砂災害警戒情報システム」「県河川情報システム」など(インターネット)



市防災ツイッター・防災メール



防災無線



テレビ(NHKのデータ放送)



インターネット

●大雨・台風時の市・県の情報提供対応

- ◎大雨により、土砂災害の危険度が高まると…
 - ・県と気象台⇒「土砂災害警戒情報」の発表
 - ・市⇒「避難勧告等の発令」「避難所の開設」
 防災無線などで市民の皆様にご注意を促します。
- ◎しかし、市からの情報が出ていなくても…

全国的にも、市からの避難勧告などの情報が出る前に災害が発生している事例もあります！



早めの自主避難の判断が重要！！
(最寄りの避難所などへ避難)

【問合せ先】
総務課 危機管理担当 ☎(46)0111(直通)